和水町バランスシート探検隊
活動報告

平成28年１１月９日

なごみまち
和水町

町長あいさつ

和水町バランスシート探検隊の結団式にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は大変お忙しい中、遠路はるばる千葉大学から大塚成男（おおつかしげお）教授、包括協定を結んでいる熊本県立大学から望月信幸（もちづきのぶゆき）准教授並びにゼミ生の皆様、株式会社 地域科学研究所の皆様が参加され、バランスシート探検隊が行われることを大変感謝し喜んでおります。

バランスシート探検隊は、最初に千葉県習志野市と千葉大学が協働で実施し、その後各地域の自治体で開催され、本町は全国で５番目の事例になり、熊本県内おいては初めての取組となります。今回の和水町バランスシート探検隊も、これまで実施してきた自治体と同様にＪＡＧＡ（公会計改革ネットワーク）と協定を締結し実施します。

さて、近年では公共施設の更新や統廃合、維持管理コストの増大等の問題や課題が表面化してくるなかで、バランスシートを用いた公共資産・公共施設のマネジメントの必要性が高まっております。本町においても公共施設を取り巻く様々な課題に直面しておりますが、公共施設の維持・改善は、地域活性化に不可欠な社会インフラでございます。そこで、今回の活動で本町においても、財政と資産マネジメントの重要性について認識し、町職員や町民、大学生がグループに分かれて公共施設を巡って、見て感じたことをグループごとに、それぞれの視点・感覚で議論し、本町の将来設計や公共施設のマネジメントに活用できればと考えております。

最後に、今回のバランスシート探検隊事業が、町の発展及び住民サービスの向上に、益々つながっていく事を祈念しまして、挨拶とかえさせていただきます。

平成28年11月９日　　和水町長　福原 秀治

まちの紹介





なごみまち
和水町



人口１０，１９１人
面積９８．７８㎢
※Ｈ２７国勢調査より

和水町の概要



和水町は、平成18年3月に旧菊水町と旧三加和町の対等合併により誕生しました。

熊本県の北西部、福岡県との県境に位置し、面積は98.78キロ㎡です。福岡県みやま市、八女市、熊本県玉名市、南関町、玉東町、山鹿市と接しており、九州自動車道のインターチェンジを有し、熊本・福岡いずれの都市圏にもアクセス条件のよいところに位置しています。また、平成23年には九州新幹線の開業に伴い、新玉名駅が置かれたことから各都市からのアクセスがより便利になりました。

人口は、10,191人（平成27年国勢調査）であり、主要産業は農業（米、野菜、果実等）ですが、電器、精密機械等の企業誘致も進めてきました。

財政状況（平成27年決算より）及び類似団体の状況

	和水町	類似団体
①経常収支比率	83.8	86.3
②実質公債費比率	6.7	8.3
③財政力指数	0.23	0.28
④積立金現在高（一人当たり）	763,309	286,226
⑤起債現在高（一人当たり）	849,119	534,122

①経常収支比率
　地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、この比率は、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、地方税、普通交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているかをみる。

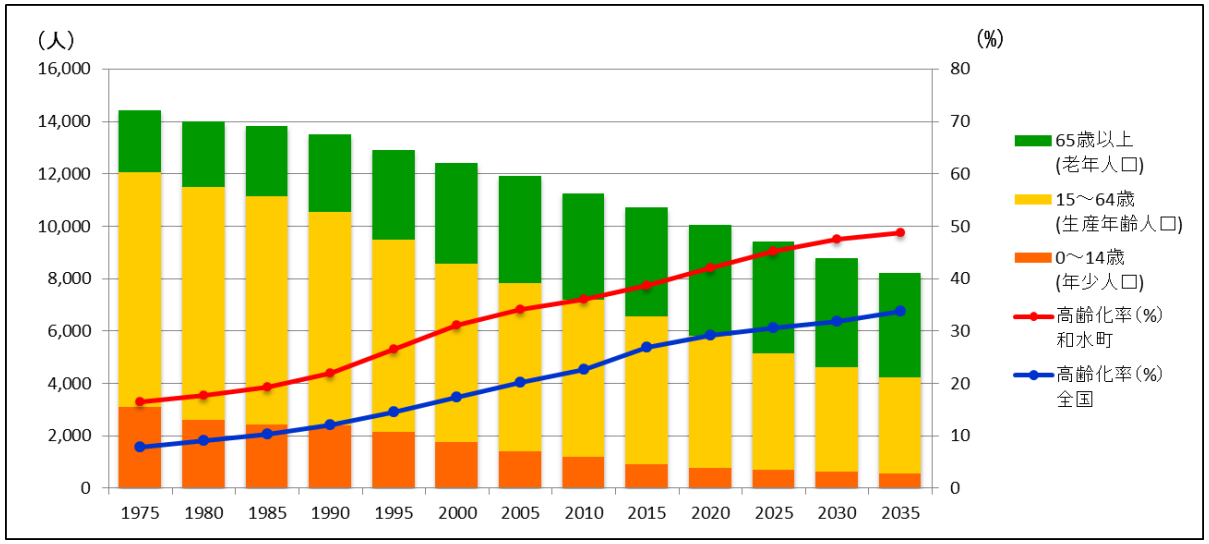
②実質公債費比率
　当該地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした学に対する比率。借入金（地方債）の返済額を及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。

③財政力指数
　地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去３か年の平均値をいい、地方公共団体の財政力を示す指標。１に近い団体ほど留保財源が大きいことになり、財源に余裕がある。

■人口の動向と将来予測

人口の推移と今後の人口の推計をみると、1975年頃から、全国平均に比べて高齢化比率が高く、その差が徐々に大きくなっていることがわかります。
1975年と2035年の人口を比較すると6割程度に減る見込みとなっており、高齢化率もこのままの推移を続けていくと、2035年には48.7%前後に上ると予測されています。

◆1975年～現在の人口推移と2035年までの人口予測

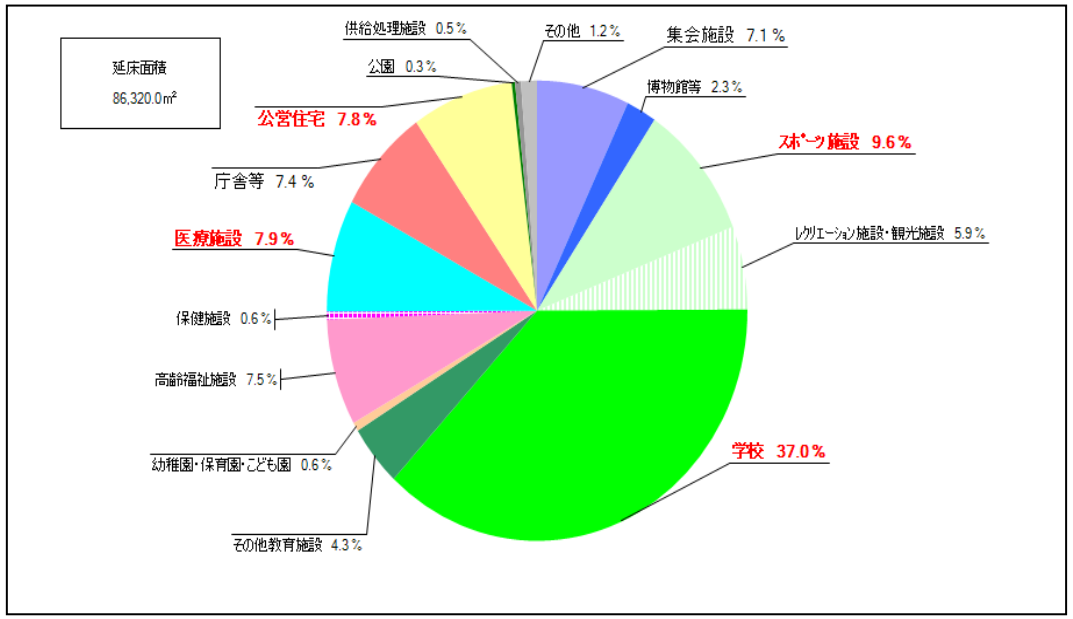


※2005年以前のデータは、合併前の数値を合算
※2010年以前は国勢調査より、2015年以前は人口問題研究所のデータを基に作成
※和水町公共施設等総合管理計画より

■施設の数量

延べ床面積でみると、学校教育施設が37.0%と最も大きな割合を占めています。次いでスポーツ施設、医療施設、公営住宅の順に多くなっています。

大分類	中分類	件数	面積（㎡）
学校教育系施設	学校	10	31,967
	その他教育施設	1	3,732
町民文化系施設	集会施設	4	6,128
社会教育系施設	博物館、公園等	4	2,232
スポーツ施設	スポーツ施設	7	8,298
レクリエーション・観光施設	レクリエーション施設・観光施設	4	5,070
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	1	532
保健・福祉施設	高齢福祉施設	3	6,465
	保健施設	1	482
医療施設	医療施設	2	6,992
行政系施設	庁舎等	2	6,411
公営住宅	公営住宅	6	6,733
供給処理施設	供給処理施設	1	391
その他	その他	4	887
合計		50	86,320

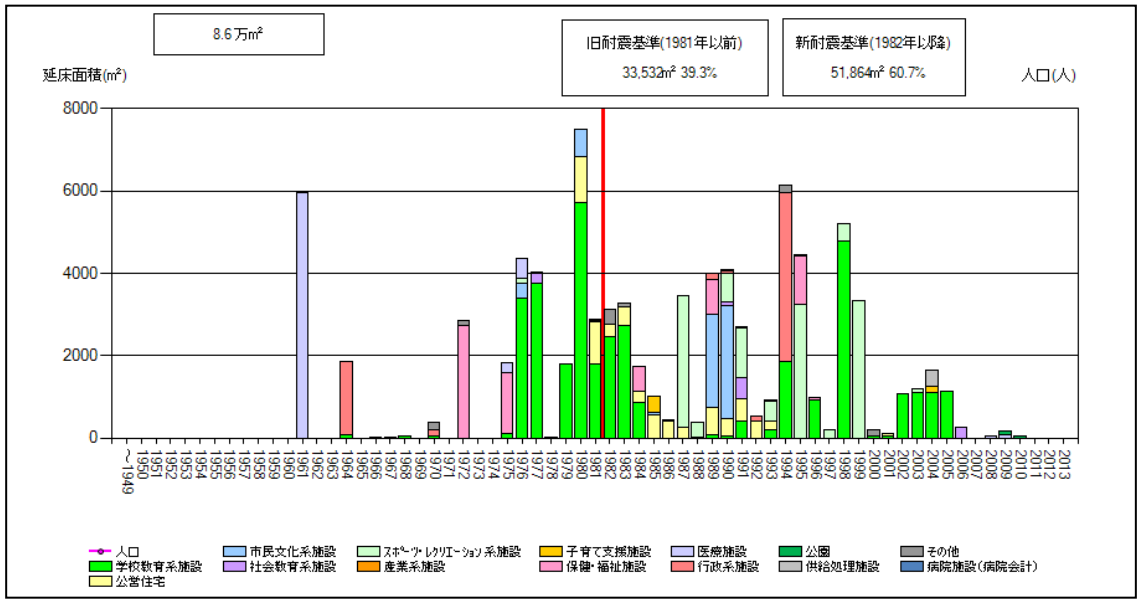


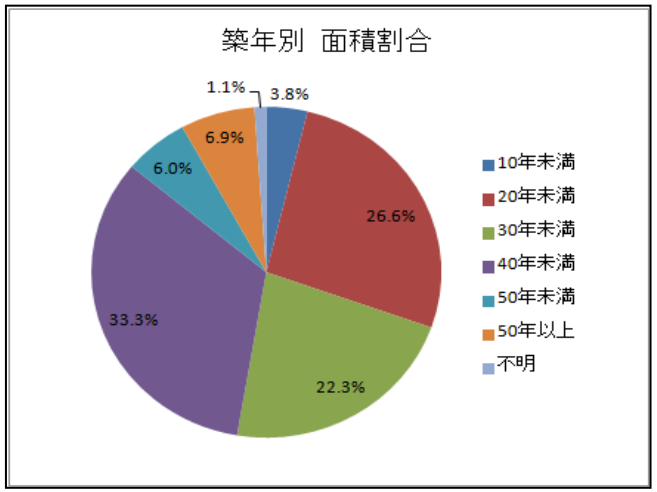
※和水町公共施設等総合管理計画より

■築年別整備状況

建築系公共施設の建築年別の延床面積をみると、学校教育施設の建設に合わせてその面積が大きくなっていることが分かります。また施設の経過年数を見てみると、築30年以上の建物が46.2%を占めており、さらに築40年以上の建物が12.9%を占めています。施設の種類にもよりますが、築30年を超えると大規模改修が必要となり、築40年を超えると建替えが必要となります。

建築系公共施設　築年別整備状況





※和水町公共施設等総合管理計画より

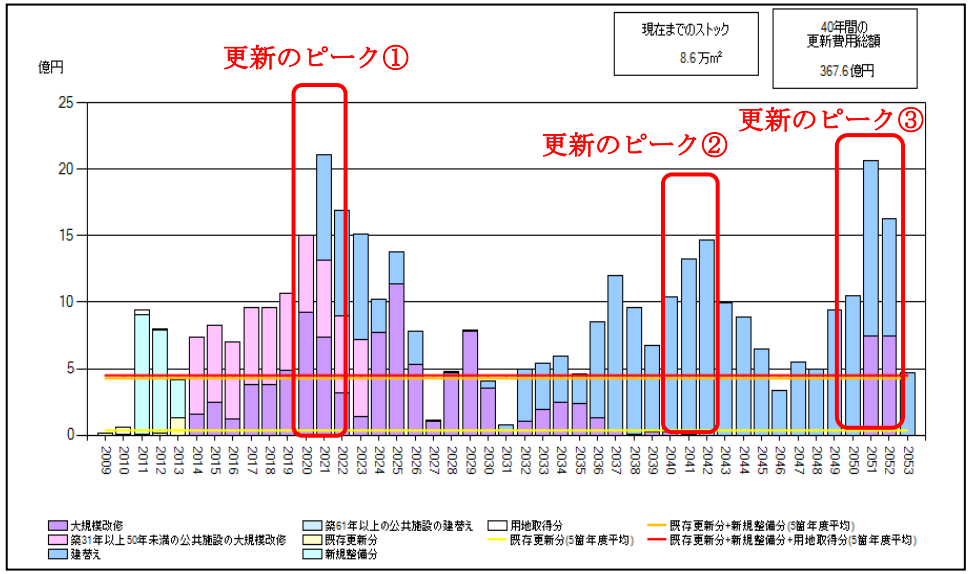
※総務省　公共施設等更新費用試算ソフトVer.2より算定
※和水町公共施設等総合管理計画より

公共施設の更新費用

■建築系公共施設の更新費用の試算結果

本町が所有するすべての建築系公共施設を大規模改修し、現状規模のまま建替えを行った場合の更新費用を試算した結果、２０１４年以降の４０年間で３６７億６千万円（年平均９億２千万円）かかることが分かります。また、年平均を大きく上回る更新時期のピークが、２０２１年、２０４２年、２０５１年の３回訪れることとなります。

建築系公共施設の更新費用



※総務省　公共施設等更新費用試算ソフトVer.2より算定
※和水町公共施設等総合管理計画より

建築系公共施設の直近５カ年の投資的経費（千円）

年度	既存新分	新規整備分	用地取得分	合計
平成21年度(2009年度)	15,845	0	0	15,845
平成22年度(2010年度)	8,486	0	54,372	62,858
平成23年度(2011年度)	6,051	901,108	38,336	945,495
平成24年度(2012年度)	11,530	778,362	8,795	798,687
平成25年度(2013年度)	131,683	289,492	1,389	422,564
平均	34,719	393,792	20,578	449,090

※和水町公共施設等総合管理計画より

町が保有する公共施設の種類について



町民文化系施設

•中央公民館、字公民館等



ｽﾎﾟｰﾂﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設

•町体育館、武道場等



医療施設

•病院、診療所等



学校教育系施設

•小中学校等



子育て支援系施設

•神尾保育園



保健・福祉施設

•保健センター等



行政系施設

•役場、消防分団車庫等



供給処理施設

•下水道施設等



その他

•教員住宅等



公営住宅

•団地、住宅、空き家活用住宅



社会教育系施設

・歴史資料館等

見る・知る・考える
バランスシート探険隊　活動内容

～バランスシート探検隊とは～
　バランスシート（貸借対照表）を作成することで、地方自治体がどのような資産を保有しているかを知ることができます。バランスシート探検隊は、地方自治体が保有している資産を自分たちの目で実際に調査し、その資産がどのように役に立っているのか、そしてその資産を活かすうえではどのような課題があるのかを考える取り組みです。

平成28年11月9日(水)

なごみまち
和水町

バランスシート探検隊団結式の様子





JAGA（公会計改革ネットワーク）と和水町協定書の締結

写真左：JAGA理事　大塚　成男氏（千葉大学大学院教授）
写真右：和水町長　　福原　秀治

JAGA理事大塚成男氏講演の様子



熊本県立大学の学生や町職員など、総勢26名が和水町バランスシート探検隊へ参加しました。
また、JAGA理事大塚成男氏による「自治体の資産とは」をテーマに、**資産**とは何か？**コスト**と**ロス**の違いとは？などについて、講義を受け、職員として、自らが管理する資産の関心度を高める非常に有効な内容となりました。

和水町財政状況の説明の様子



財政担当職員から和水町の財政状況について説明を行いました。
和水町は積立金現在高（1人当たり）、起債現在高（1人当たり）が、類似団体に比べて高いことや、税収などの自主財源が低く、国・県からなどの依存財源で成り立っていることなどの説明をしました。

見学施設　①和水町中央公民館　施設の概要

■施設目的

町その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の更新、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

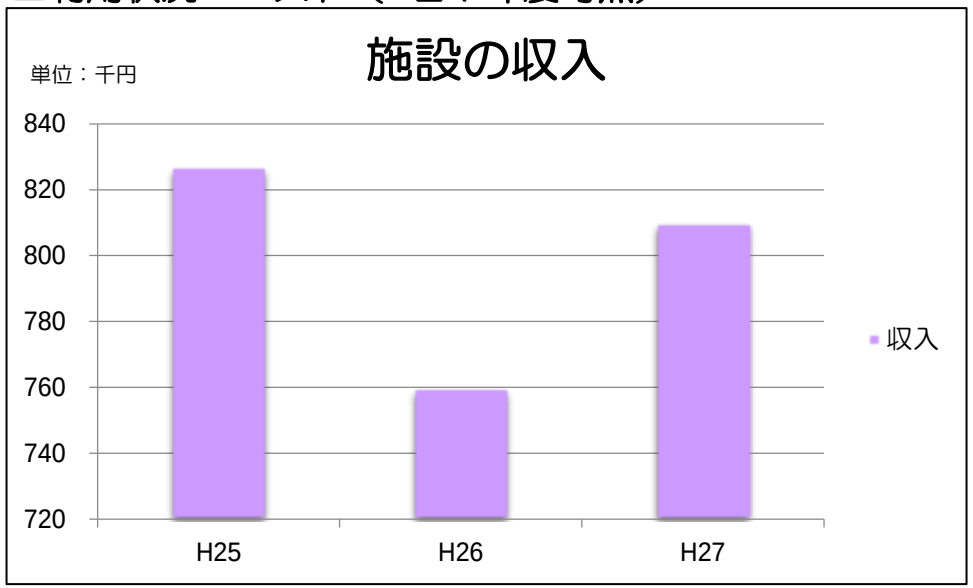


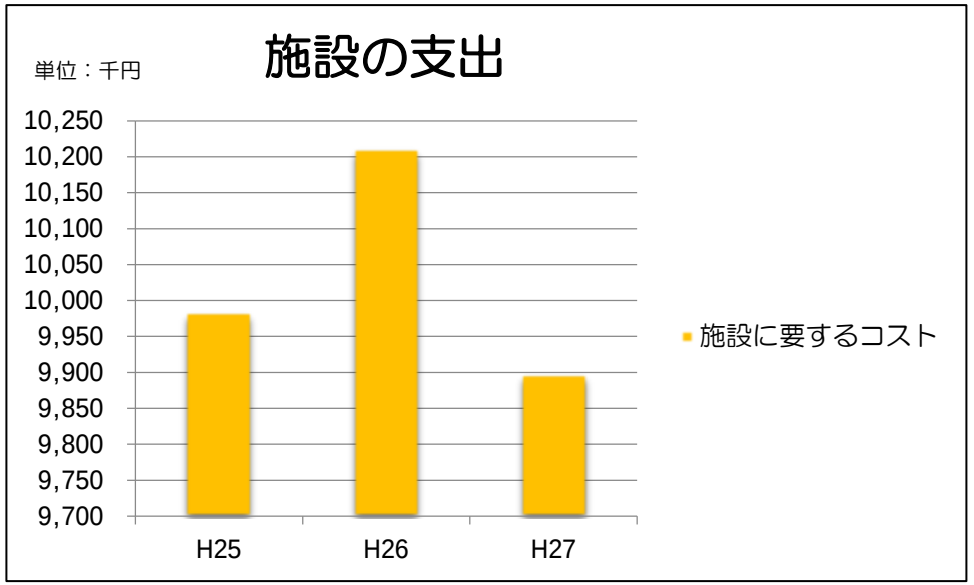
■施設の基本内容（H27年度時点）

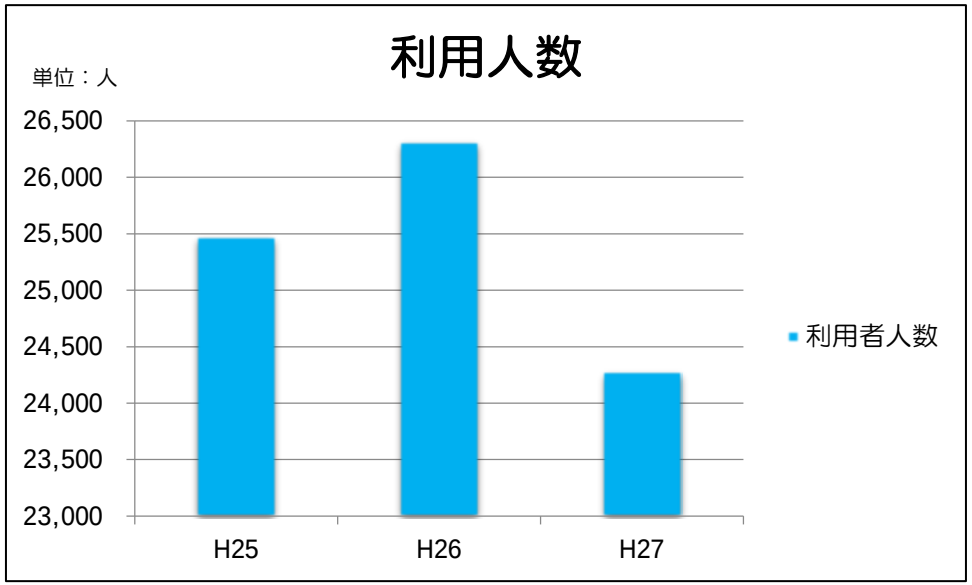
和水町中央公民館　基本情報	
所在地	江田字中小路原3883-1　他
施設分類	町民文化系施設
所管課	社会教育課
構造	鉄筋コンクリート
棟数・面積	棟数：1棟・延床面積：8,075.91㎡
建築年月日	1990年5月1日
経過年数/耐用年数	経過年数：26年/耐用年数：50年
老朽化率	50%
建築事業費	371,123,100円
現在価値	185,561,550円
H27年維持費管理コスト	9,899千円
H27利用者数	24,294人
H27施設利用料収入	810,483円

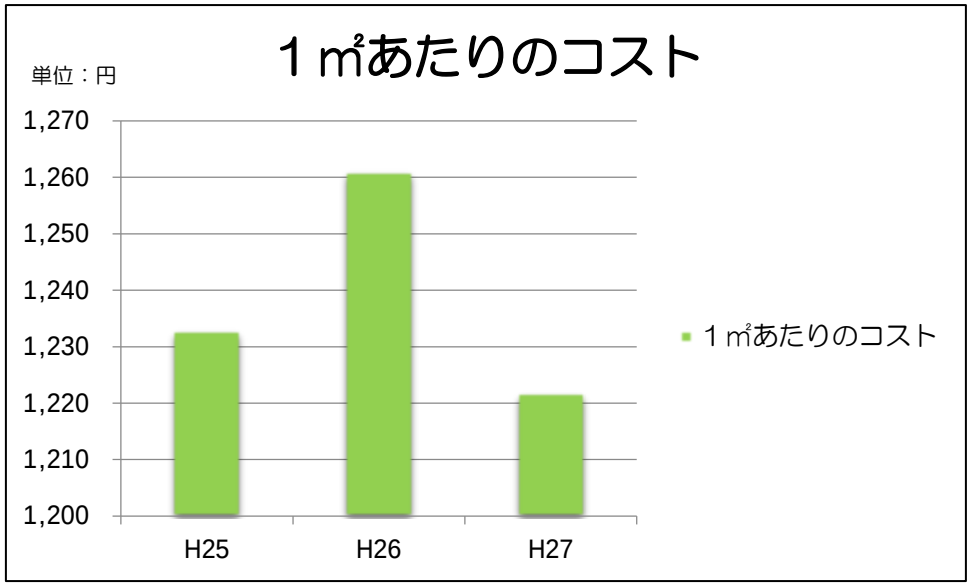
見学施設　①和水町中央公民館　施設の概要

■利用状況・コスト（H２７年度時点）









見学施設　①和水町中央公民館　施設の概要

■施設の利用内容

大会議室、中会議室、小会議室４、和室２、視聴覚室、調理室、図書室、館長室、事務所
・町内各種サークルによる定期的な活動（ダンス、詩吟、民謡、芸能団、太極拳、ヨガ）
・各種会議、大会、説明会、講演会等の開催場所　⇒　成人式、区長会、記念式典等
・図書館の利用（読書、勉強場所）

■施設の問題点

・建設後２５年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるため、空調機や照明・音響設備等の修繕個所が増加している。（維持管理コスト費用の増）
・公民館が２館あることによる職員配置の偏り（２館あることによるメリットもある。）

■施設見学の目的、考えてほしいこと

・公民館を利用されている団体の会員数を増やし、利用者増及び収入増を図るにはどのような方法が考えられるか。
・利用団体が毎年ほとんど変わらないため、新しい風（新規利用団体）を呼び込み、サークル活動を活性化させる方法の検討。

見学施設　①和水町中央公民館　見学の様子





■施設利用内容について担当者より説明

大会議室、中会議室、小会議室4、和室2、視聴覚室、調理室、図書館、館長室、事務所
町内各種サークルでの利用や、成人式等式典、勉強場所（図書館）の開催場所として利用されている。

見学施設　①和水町中央公民館　見学の様子





■施設の問題点・今後の利用者に関して担当者より説明
建設後25年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるため修繕個所の増加が今後考えられる。
また、より多くの町民に利用してもらうため(利用団体が毎年ほぼ変わらない現状）新たな利用団体の呼び込み、サークル活動の活性化等、方法を考える必要がある。

見学施設　②肥後民家村　施設の概要

■施設目的

都市と農村の交流を促進し、地域住民の健康増進及び郷土文化の伝承と地域の活性化を図ることを目的としている。



■施設の基本内容（H27年度時点）

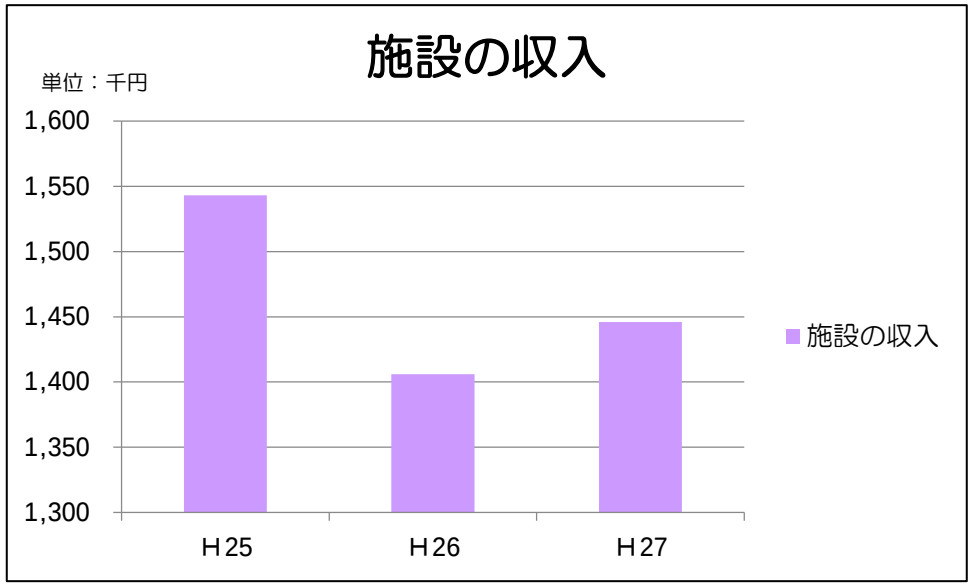
肥後民家村　基本情報	
所在地	江田字清原302
施設分類	社会教育系施設
所属課	商工観光課
棟数	15棟
延床面積	37,970.42㎡
建築事業費	73,760,000円
H27維持管理コスト	9,573,606円
H27利用者数	15,602人
H27施設利用料収入	1,445,769円

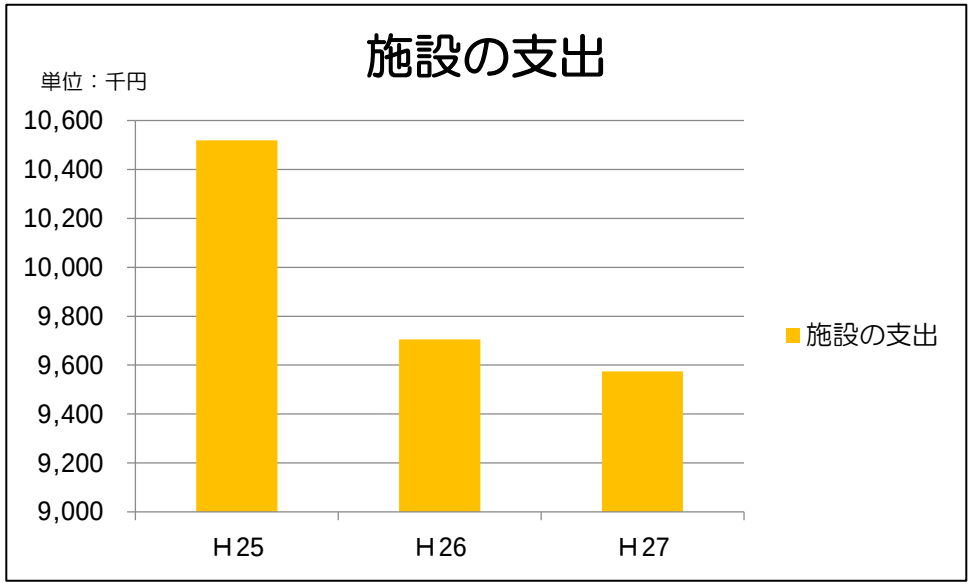
■各棟情報

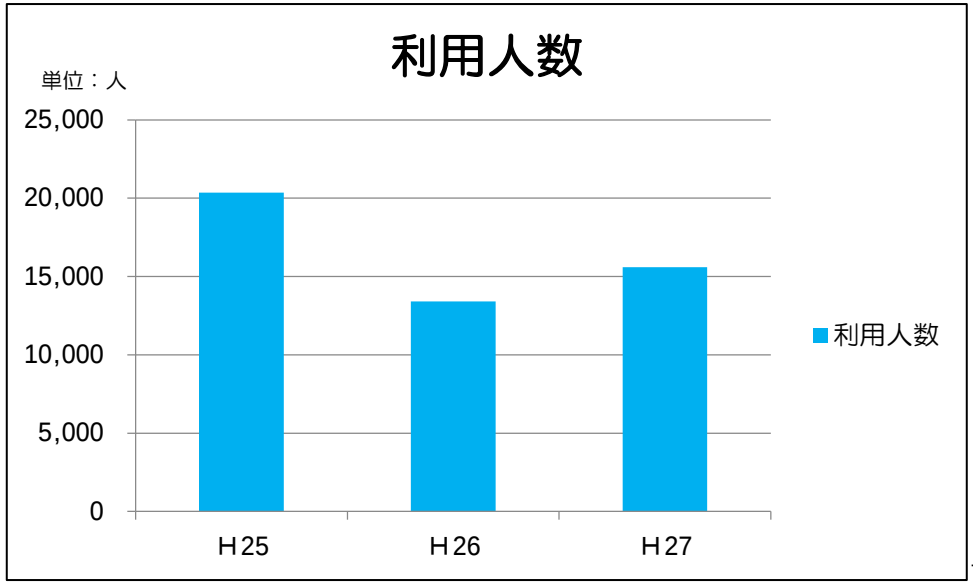
名称	構造	延床面積(㎡)	建築年月日	経過年数	耐用年数	老朽化率	新耐震基準
ガラス工房	木造	258.00	2007年3月30日	9年	15年	60.30 %	○
布施家	木造	488.00					×
布施家倉	木造	73.00					×
木工館	木造	225.00	1992年3月1日	24年	24年	100 %	○
対馬石屋根	木造	16.00	1981年8月1日	35年	34年	100 %	○
歴史民族資料館	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	239.00	1978年1月31日	38年	50年	76 %	×
公衆トイレ	木造	54.14	1991年5月31日	25年	24年	100 %	○
茶屋ゲート	木造	108.00	1991年5月31日	25年	24年	100 %	○
水車小屋	木造	49.00	1991年5月31日	25年	24年	100 %	○
中原家蔵	木造	85.00	1991年3月27日	25年	25年	100 %	○
陶芸工房	木造	34.00	1991年5月31日	25年	24年	100 %	○
陶芸館	木造	20.00	1991年5月31日	25年	24年	100 %	○
緒方家	木造	98.00					×
山野家	木造	143.00					×
河野家	木造	122.00					×

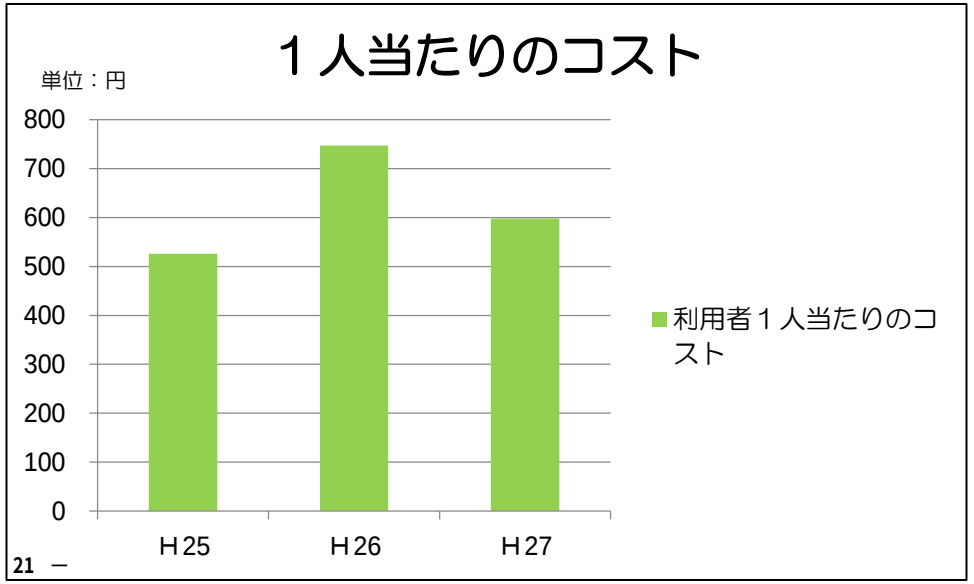
見学施設　②肥後民家村　施設の概要

■利用状況・コスト（H27年度時点）









見学施設　②肥後民家村　施設の概要

■施設の利用内容

・都市と農村の交流促進、地域住民の健康増進、郷土文化の伝承、地域活性化を目的としている。
・移築復元した古民家をただ空家として見せるだけでは魅力が乏しく、リニューアルオープンした以降も来客数が低迷。平成１２年度から入場料を無料化し、「あるものを生かす」という方針で、古民家をクリエイターに工房として格安で貸し出して、施設の魅力向上及び誘致促進に努めている。

■施設の問題点

・入込客数及び収入金額が減少している。
・アンバランスで厳しい収支状況である。
・２０年程度の期間で葺き替えが必要な茅葺の改修費用が高額である。
・一事業である簡易宿泊業務の稼働率が極端に低い。
・事業の認知度が低く、営業不足である。
・イベントを除き、町民の普段の利用が少ない。

■施設見学の目的、考えてほしいこと

・特色ある施設なので、施設の認知度を高めたい。
・今後の施設の方向性については、道の駅等再生検討協議会から「古民家工房の上質化の推進、簡易宿泊事業の廃止、地域おこし協力隊の活用、移住定住の促進拠点化、古民家レストラン、国宝里帰り町民運動等」の提案があっており、今後は、具体的にいかに行動して効果を生み出していけるか課題である。

見学施設　②肥後民家村　見学の様子





■担当者より各施設紹介

蕎麦屋木阿弥、旧布施家住宅、歴史民俗資料館、ガラス工房カリヒロ、陶芸工房万世釜、篠笛工房山彦、旧河野家住宅（宿泊可）、DAMASQUINADOR(アクセサリー館）、NAME LESS(木工館）、旧山野家住宅（宿泊可）、KINON（カフェ＆アート）、旧境家住宅

見学施設　②肥後民家村　見学の様子





■施設の特徴について担当者より説明
移築復元した古民家の公開(一部休憩・宿泊可）しつつ、古民家をクリエイターに工房として貸し出しており、
様々な体験ともに見学が行える。

見学施設　②肥後民家村　見学の様子

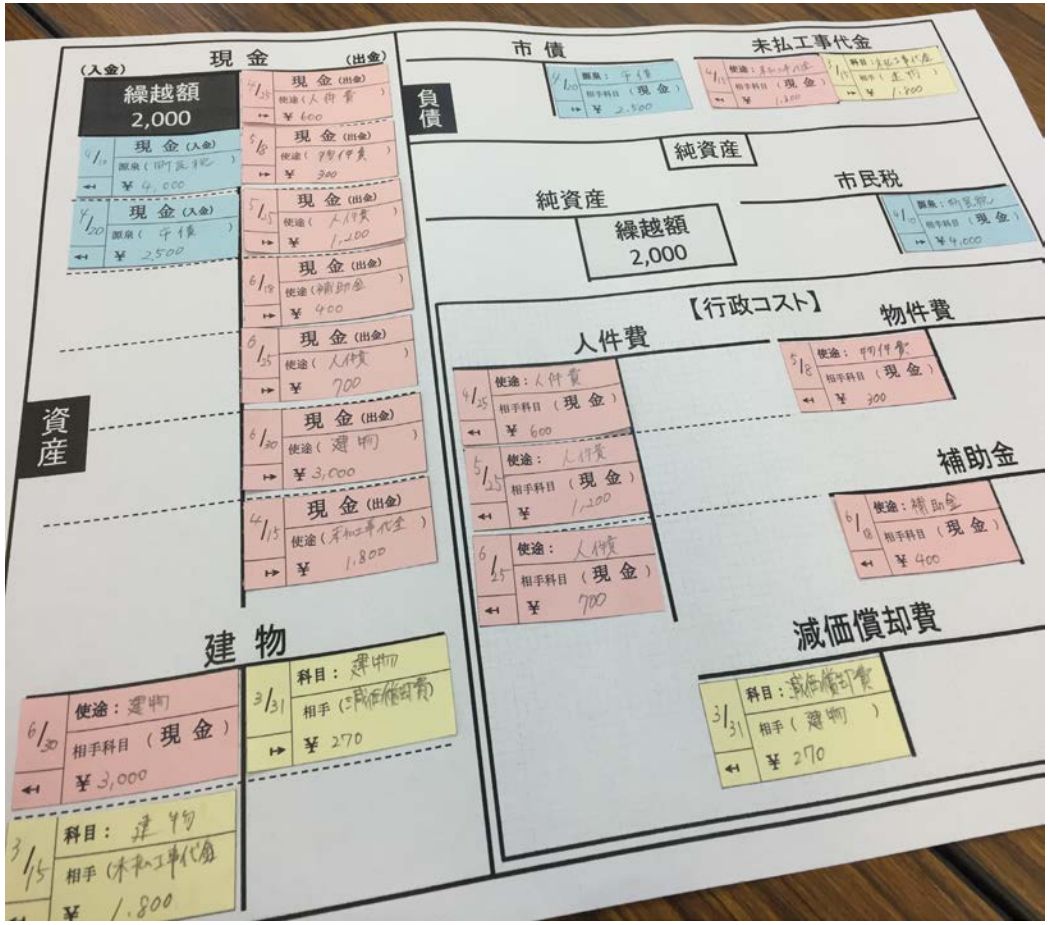




■参加者からの声
　「こんな施設があることを知らなかった！？」、「外見から想像がつかないようなお洒落なお店やカフェがある！」等

仕訳演習の様子





■付箋を使った仕訳演習
施設見学の後は、5つのグループに分かれて、大塚教授指導のもと、実際に簿記の仕訳演習を行いました。
仕訳は難しいイメージを持ってる方が多かったのですが、付箋を使った演習では、やり始めたらみなさん意外と簡単にできていました。

グループディスカッションの様子





■グループディスカッション
中央公民館と肥後民家村の利活用について、４つのグループにわかれてグループディスカッションを行いました。「若者が参加できるサークル・習い事を増やす」「料金が安すぎる」「もっと町外に施設があることを周知をした方がよい」「肥後民家村の広さを活用したい」など活発なご意見を頂きました。

報告・発表の様子





■発表
グループディスカッションで出た意見をまとめてもらい、見学した中央公民館と肥後民家村の改善点や利活用の方法について各グループに発表して頂きました。

報告・発表の様子





■発表
みなさん、人前での発表で、若干緊張も見られましたが、改善点について、それぞれのグループ代表に熱く語っていただきました。

グループディスカッションによる主な意見及び解決策について

〇中央公民館の有効利用について

・利用料が安すぎるので、相場を考慮しつつ値上げする。

・ネット環境があれば利用者が増えそう。

・子供向けの習い事で施設を利用。

・視聴覚室が有効利用されていないため、ナイトショーなどの開催

・図書館を中高生がもっと利用できやすいようにする。

・高齢者の利用が多いため、若者が好きそうなサークルを呼ぶ。

・維持管理費を安くするためのＬＥＤの導入

〇肥後民家村の有効利用について

・夜間利用ができるようにする（イルミネーションやフェス及びバル等）

・施設自体があることを知らなかったので、広報の充実（周知不足）

・カフェ・バー等、若者に向けたものを増やし、ＳＮＳなどを活用して情報発信する。

・リピーターを作るための魅力やイベント作りの実施

・四季を活かして、期間限定イベントなど、特別感を出す。

・１日体験・観光ツアーをつくる！（バスツアー等）

大塚教授及び望月准教授による講評の様子





■講評
グループディスカッションで出た意見等について、千葉大学教授大塚氏及び熊本県立大学准教授望月氏より、
それぞれ最後に講評をいただきました。

お礼のご挨拶



無事にバランスシート探検隊in和水町が終了しました。
大塚教授や望月准教授及び熊本県立大学の学生の皆さんには、遠路はるばるお越しいただきありがとうございました。また、貴重なご意見をみなさんからたくさんいただくことができ、今後の施設のあり方について、検討する資料となりました。この場を借りて改めて、お礼を申し上げます。
今後も開催予定ですので、町民の皆さん、興味のある方はぜひ、バランスシート探検隊にご参加ください。